

トや履歴書の書き方を含めた相談に対して就職活動経験者の視点からアドバイスしてもらい、一定の成果を得ています。

■ 4 公務員試験受験者に対する

取り組みの強化

文系・理系を合わせて毎年300名以上の卒業生が公務関係に進んでいます。就職希望者比では約7.2%、特に法学部では約16.3%になります。入学当初から公務分野を目指す学生や、学年進行のなかで公務分野を志向する学生が存在することから、各層に適切な支援をおこなっています。多摩・後

楽園キャンパスとも、省庁・自治体による業務説明会、OB・OGとの懇談会をはじめ、効果的な受験勉強を目的として多摩キャンパス炎の塔に1室(60席)を確保し、1名1席を提供(有料)する支援もおこなっています。



■ キャリア支援

キャリアセンターでは、本学のキャリア教育の理念等に基づき、学生一人ひとりが入学後の早い時期に将来に対する進路を意識できるよう、また学修生活・大学生活の目標設定や行動計画を行えるよう、引き続き支援していきます。学生には、自己の特性(個性)とそれを活かす大学生活、社会への理解、社会とのつながり等について自らが考え行動し意思決定ができるように、自己への〈気づき〉を促進させ、大学生活を有意義に過ごす重要性が認識できるようサポートしていきます。具体的な取り組みとしては、キャリアデザイン・ノートの活用をはじめ、自己発見診断テスト、キャリア講演会、キャリアガイダンス、インターンシップ等の多様なプログラムを一層充実させていきます。

■ 就職支援

景気悪化前の2008年度は、大手企業を中心に採用数が大幅に増加しました。しかし、昨年末の経済環境の変化にともなって採用数の減少も考えられることを踏まえ、学生に対しては、じっくり自分を見つめ、企業研究を促し、今まで以上に学生一人ひとりが満足し納得する就職ができるよう支援していきます。具体的には、マスを対象とするガイダンスを中心に捉え、個を対象とするきめ細やかな個人面談を充実させるとともに、企業で活躍するOB・

OGや人事担当者の話を聴く機会を多く提供し、自分の将来や社会の仕組みを意識し、業界・企業研究ができる多様なプログラムを展開していきたいと考えています。

■ 公務員試験受験者への支援

また、企業への就職だけではなく、公務員等においてもOB・OGの方々のアドバイスや支援が重要ですが、個人情報保護法が施行されたことにより、OB・OGの連絡先や合格者、内定者の情報を得ることが難しくなっています。しかし、今まで行ってきたように、本学出身のキャリアの先輩の方々と公務員志望の学生との接点を提供することは続け、希望省庁の内定に繋げていきたいと考えています。

中央大学は多くの卒業生が社会で活躍しています。学生の就職活動にあたっては、学員の皆様の協力を是非とも仰ぎたいものです。学員会の支部によっては、学生が帰省する夏休みを利用して地元の企業・自治体等を集め、学生・ご父母へダイレクトメールを送っており、Uターン就職を希望する学生にとっては有効な方法になっています。先行き不透明な経済環境が予想されますが、学員の方々のご協力を頂きながら、学生にとって有益な支援を今後も展開していきたいと考えます。

今後の 取り組み